

1

(1) 物事を批判的にとらえ、客観的かつ論理的に思考すること。

(2) 健康の構成要素に関する分類であり、生きることの全体像を示す共通言語。

(3) 診断や治療選択などについて、現在の担当医以外の専門的な知識をもった者に意見を求めること、またその意見。

など、内容が正しければ正答とする。

2

女性

理由：

- ・ 関節疾患がBより多い。関節リウマチ、変形性関節症の発症率が女性の方が高いため。
- ・ 転倒・骨折がBより多い。高齢女性に多く見られる骨粗鬆症とそれに伴う骨折が認められるため。

など、内容が正しければ正答とする。

3

問1

身体症状：無月経、病的骨折（骨粗鬆症）、徐脈、低血圧、低体温、浮腫、消化機能の低下、寒がり、筋肉の痙攣、抑うつ、四肢や呼吸筋の麻痺、イレウス、徐脈、不整脈、頭痛、嘔吐、全身倦怠感、傾眠、人格変化、痙攣、意識障害 など

根拠：根拠に書かれた内容が正しく具体的であり、身体症状と関連している内容であれば正答とする。

問2

- ・ 患者の気持ちに寄り添う姿勢で対応する。
- ・ 患者の行動を問題視しない。
- ・ 患者と信頼関係を構築し、患者の回復過程を支持的に関わる。
- ・ 医師や栄養士や心理士など他職種を含めて、患者を支援する。
- ・ すぐに体重を増やすための支援をしない。

上記の採点基準に従い、内容が正しければ正答とする。

4

問1 4

問2 3

問3 3

問4 1

令和5年度 看護学部 編入学（助産師養成特別）

5

問1 2、4

問2 3

問3 1、3

問4 2

問5 1

問6 3

問7 1

問8 2、3

6

問1 ①ケ ②タ ③チ ④カ ⑤エ ⑥イ ⑦ク

問2 4

7

問1 ①第3期 ②子宮口開大 ③活動期 ④座骨棘 ⑤肛門圧迫感
⑥呼吸法 ⑦重力／骨盤誘導線 ⑧脊髄 ⑨感覚中枢

8

①オキシトシン ②38.0 ③産後うつ ④受容

9

①チ ②セ ③コ

10

①呼吸／ガス交換／換気 ②上昇 ③拡張 ④肺静脈
⑤上昇 ⑥卵円孔 ⑦静脈管 ⑧動脈管／ボタロー管

11

「平成29年(2017年)4月からセンター（法律（*母子保健法第22条）における名称は「母子健康包括支援センター」）を市区町村に設置することが努力義務とされ、さらに、2020年度末までにセンターの全国展開を目指すこととされた。

センターの役割として、妊産婦・乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、妊産婦や保護者の相談に保健師等の専門家が対応するとともに、必要な支援の調整や関係機関と連絡調整するなどして、妊産婦や乳幼児等に対して切れ目のない支援を提供する。このような取組により育児不安や虐待の予防に寄与す

令和5年度 看護学部 編入学（助産師養成特別）

る。

妊産婦・乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握するためには、センターが母子健康手帳交付時の面談等の機会を活用して直接把握する方法のほか、関係機関が把握している情報をセンターに集約させ、一元的に管理することによって可能となる。この過程で、各関係機関が把握した妊産婦や乳幼児等の支援ニーズを踏まえて、適切な関係機関・支援を紹介するなど、センターが調整役となることで、妊産婦や乳幼児等に対して包括的な支援を提供することが期待される。」

○誤字・脱字：1個につき1点減点

○目的が明確に述べられていない、センターの機能だけを説明している、という場合は、半分減点の上、上記ガイドラインから大きくずれていない内容であれば、採点対象としてよいこととする。